

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道474号 三遠南信自動車道 小川路峠道路 <b>起終点</b> 自：飯田市上久堅 至：長野県下伊那郡上村程野	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 中部地方整備局 <b>延長</b> 13.5km	
<b>事業概要</b> 小川路峠道路は、広域的な交流促進、三遠南信地域の連携強化さらには高規格幹線道路網の信頼性向上等を向上等を目的として計画された一般国道474号三遠南信自動車道のうち、伊那谷と遠山谷を連絡する区間に位置する延長13.5kmの道路である。			
S59年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	S61年度用地着手	S61年度工事着手
<b>全体事業費</b> 約550億円		<b>事業進捗率</b> 49.1%	
<b>計画交通量</b> 5,100 台/日		<b>供用済延長</b> 4.8km	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.6	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 206 / 206 億円 (事業費：179/179 億円 維持管理費：27 / 27 億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 322 / 322 億円 (走行時間短縮便益：291 / 291 億円 走行費用減少便益：22 / 22 億円 交通事故減少便益：9 / 9 億円)
	<b>(残事業)</b> 1.6	<b>基準年</b> 平成15年	
<b>事業の効果等</b> 国土・地域ネットワークの構築（遠山谷地域～飯田市間を連絡する路線を構成する） 災害への備え（国道256号の通行不能区間の解消） 他14項目に該当			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 小川路峠道路は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、飯田市をはじめとする関係8市42町村の首長で構成される三遠南信道路期成同盟会より早期整備の要望を受けている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成6年3月の矢筈トンネル開通により、遠山谷地域の医療・教育・産業等の影響は大きく改善。しかし、過疎化、高齢化問題は依然として深刻。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 一般国道152号の一次改築としてL=6.0km区間を事業化しH6.3に矢筈トンネル区間供用L=4.8km。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成14年度からコスト削減に向けルートの再検討に着手し平成20年半ば供用目標。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 道路構造令の規定値から特例値に見直しを行いルート延長の短縮、地形に沿った設計によりコスト縮減を図っている。			
<b>対応方針</b> 事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b>			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。